

2023 年度（2024 年 3 月 31 日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科目	金 額	科目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
現金及び預貯金	1,467,742	保険契約準備金	4,783
預貯金	1,467,742	支払備金	1,819
有形固定資産	2,349	責任準備金	2,963
その他の有形固定資産	2,349	代理店借	118
無形固定資産	1,352	再保険借	16
その他の無形固定資産	1,352	その他負債	37,965
その他資産	122,663	未払法人税等	950
未収金	88,086	未払費用	36,727
未収保険料	20	預り金	147
前払費用	23,740	仮受金	140
預託金	10,696	負債の部 合計	42,883
仮払金	106	（純資産の部）	
その他の資産	15	資本金	1,300,000
繰延税金資産	61,020	資本剰余金	1,300,000
供託金	10,000	資本準備金	1,300,000
		利益剰余金	△977,755
		その他利益剰余金	△977,755
		繰越利益剰余金	△977,755
		株主資本合計	1,622,244
		純資産の部 合計	1,622,244
資産の部合計	1,665,128	負債及び純資産の部合計	1,665,128

注記事項

（貸借対照表関係）

1. 有形固定資産の減価償却は、定率法により行っています。なお、その他の有形固定資産のうち取得価額が 20 万円未満のものについては、3 年間で均等償却を行っております。
2. 無形固定資産の減価償却は、定額法により行っています。
3. 消費税等の会計処理は税抜方式によって行っています。なお、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上のうえ 5 年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理しております。
4. 責任準備金は、期末時点において保険契約上の責任が開始している契約について、保険契約に基づく将来の債務の履行に備えるため、保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づき計算し、積み立てております。

5. グループ通算制度の適用

当社は、日本生命保険相互会社を通算親会社として、グループ通算制度を適用しております。これにより、法人税および地方法人税の会計処理またはこれらに関する税効果会計の会計処理は、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（企業会計基準委員会実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日）に従っております。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債等に限られている上、当社では安全性・流動性の確保のため、預貯金による運用を基本方針としています。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2024 年 3 月 31 日（当期末）において当社が保有する主な金融商品（預貯金、未収金ならびに未払費用）は、いずれも短期間で決済され時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

上記のとおり、預貯金、未収金ならびに未払費用の時価は帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

7. 有形固定資産の減価償却累計額は 4,526 千円であります。

8. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

関係会社に対する金銭債権の総額は 84,542 千円、金銭債務の総額は 9,387 千円であります。

9. 税効果会計に関する事項

繰延税金資産の発生 of 主な原因別の内訳は、以下のとおりであります。

（繰延税金資産）

長期前払費用	32,946 千円
ソフトウェア	33,785 千円
税務上の繰越欠損金	25,718 千円
その他	453 千円
繰延税金資産小計	92,903 千円
評価性引当額	△31,883 千円
繰延税金資産合計	61,020 千円

10.支払備金の内訳

支払備金の内訳は、以下のとおりであります。

(支払備金)

支払備金（出再支払備金控除前）	1,819	千円
同上に係る出再支払備金		-
差引	1,819	千円

11.責任準備金の内訳

責任準備金の内訳は、以下のとおりであります。

(責任準備金)

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	2,316	千円
同上に係る出再責任準備金	16	千円
差引（イ）	2,300	千円
異常危険準備金（ロ）	662	千円
計（イ＋ロ）	2,963	千円

12.1 株当たり純資産額は、6,239 円 40 銭であります。

13. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

2023 年度 { 2023 年 4 月 1 日から
2024 年 3 月 31 日まで } 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額
経常収益	12,478
保険料等収入	12,478
保険料	12,478
経常費用	399,318
保険金等支払金	5,038
保険金等	4,990
解約返戻金等	1
再保険料	46
責任準備金等繰入額	3,894
支払備金繰入額	1,709
責任準備金繰入額	2,184
事業費	390,384
営業費及び一般管理費	366,088
税金	22,907
減価償却費	1,388
経常損失	386,839
税引前当期純損失	386,839
法人税及び住民税	△83,592
法人税等調整額	△13,538
法人税等合計	△97,130
当期純損失	289,708

注記事項

(損益計算書関係)

1.保険料等収入、保険金等支払金の計上方法は、次のとおりです。

- (1)保険料のうち初回保険料は、原則として収納があり、保険契約上の責任が開始しているものについて、当該収納した金額により計上しております。また、2回目以降保険料は、収納があったもの又は保険料支払期日が到来しているものについて、収納金額又は保険契約に基づく金額により計上しております。
- (2)保険金等支払金（再保険料を除く）は、保険約款に基づく支払事由が発生し、当該約款に基づいて算定された金額を支払った契約について、当該金額により計上しております。

再保険料は、再保険協約に基づき、対象となる元受商品の保険料の計上時期及び出再割合等に応じて、計上しております。

2. 収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料、再保険返戻金及びその他再保険収入の合計額	12,478 千円
再保険料及び解約返戻金等の合計額	48 千円
差引	12,430 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	4,990 千円
回収再保険金	-
差引	4,990 千円

(3) 支払備金繰入額

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	1,709 千円
同上に係る出再支払備金繰入額	-
差引	1,709 千円

(4) 責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前）	1,886 千円
同上に係る出再責任準備金繰入額	16 千円
差引（イ）	1,870 千円
異常危険準備金繰入額（ロ）	314 千円
計（イ＋ロ）	2,184 千円

3. 関係会社との取引による費用の総額は、85,925 千円であります。なお、この他グループ通算制度による法人税及び地方法人税の還付相当額 84,542 千円を計上しております。

4. 1 株当たり当期純損失は、1,114 円 26 銭であります。

5. 関連当事者取引

(1)親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)の割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	当期末残高
親会社	日本生命保険 相互会社	(被所有) 直接 100%	役員・出向者 の受入	出向負担金の 支払(*)	85,914	未払費用	9,387
			グループ通算 制度の通算親 会社	グループ通算 制度に伴う受 取予定額	84,542	未収金	84,542

(*) 当社における業務の内容等を勘案して協議・決定しております。

(2)兄弟会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)の割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	当期末残高
親会社の子会社	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	—	システム開発・運用・保守の業務委託契約等	システム開発委託・運用・保守料等の支払(*)	102,750	未払費用	14,850

(*) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して価格交渉の上で決定しております。

(注) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

6. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。